

「奈良県無電柱化推進計画(案)」に対する意見概要と県の考え方

■パブリックコメント(意見募集期間：令和6年7月2日(火)～令和6年7月31日(水))

《意見書提出状況》

意見書提出数 4通 (意見数 4件)

推進計画(案) 目次		意見概要	意見に対する県の考え方
無電柱化の推進に関する基本的な方針(1件)	無電柱化の課題	届出・勧告制度の適用にあたっては周知が必要	<p>無電柱化の重要性について県民の理解が得られるよう、積極的に広報・啓発活動を行ってまいります。</p> <p>[推進計画(案) P17 第5章 1.多様な媒体を通じた広報・啓発活動 に記載の通り]</p>
無電柱化の推進に関する目標(2件)	無電柱化の対象道路	春日山眺望を確保するため、ならまち周辺の無電柱化の取り組みの要望	<p>奈良県の無電柱化事業は、(1)防災、(2)安全・円滑な交通確保、(3)景観形成・観光振興、(4)県と市町村とのまちづくり、(5)面的整備事業等の観点で取り組んでいます。引き続き、地域の理解が得られ、確実な進捗が見込まれる地区(区間)において、無電柱化に取り組んで参ります。頂いたご意見を参考に、今後も取り組んで参ります。</p> <p>[推進計画(案) P15 第3章 2.計画目標 に記載の通り]</p>
		安全性の観点による無電柱化の取り組みの要望	
その他(1件)		無電柱化整備を進めるための方策をもっと示して欲しい	<p>無電柱化事業が進まない状況については、国が実施した全国自治体アンケート調査によると、「コストが高い」、「電線事業者などとの調整が困難」、「工事の期間が長い」などが原因の上位を占めています。このことを踏まえ、今後5年の取り組み姿勢は、「新設電柱を増やさない」、「徹底したコスト削減」、「事業のスピードアップ」とし、新たに「沿道区域、届出・勧告制度」の導入に向けての検討や、新技術・新工法を踏まえたコスト削減の検討、民間技術の活用などによるスピードアップに取り組み、無電柱化を推進してまいります。</p> <p>また、無電柱化の重要性について県民の理解が得られるよう、積極的に広報・啓発活動を行ってまいります。</p> <p>[推進計画(案) P4・7 第1章 2.無電柱化の課題 4.無電柱化の取り組み姿勢 P15～17 第4章 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策 P17 第5章 1.多様な媒体を通じた広報・啓発活動 に記載の通り]</p>

意見募集結果公表期間：令和6年10月9日(水)～令和6年11月8日(金)

(問合せ先)

奈良県 県土マネジメント部 道路建設課 事業第一係

TEL：0742-27-7498